

山容秀麗他に落ちない日本海に面した信仰の山

鳥海山

実施日 2022年8月20日(土)～21日(日)

天候 晴れ

リーダー 宮崎 敏男

参加者 宮崎 敏男、石附 智江、佐藤 聡美 計3名

費用 夜行バス8,100円、レンタカー6,000円(ガソリン代含)、J R (酒田⇐新潟⇐東京)13,750円(割引者9,630円) 宿泊代8,800円
合計36,650円(32,530円)

タイム 湯の台口登山口(20)滝の小屋(1h)河原宿小屋(2h45)伏拝岳(10)行者岳(38)鳥海山・新山

往路正味 4 h 33 m

鳥海山大物忌神社(34m)伏拝岳(2h48m)滝の小屋(16m)湯の台口

帰路正味 3 h 38 m その他休憩 2 h 12 m 合計 10 h 23 m

距離 12.0 km、上り 1,207 ㍓・下り 1,387 ㍓

線状降水帯の北東北、近くの鳥海山も悪天候。しかし実施日には回復すると期待していた。前日の気象予報、22日は絶好の登山日和、21日は風速16～20Mの強風の予報、とても21日は無理。相談して



22日だけ登ることに"予定通りバスに乗りましょう"とラインでGO!

翌日、庄内のシン

ボル山居(さんきょ)倉庫。遊佐の岩ガキ・焼き立て魚ご飯。

鳥海山大崩のなごり象潟・九十九島。この地が初めての三人は十分楽しみ日本海に面した温泉旅館に投宿、明日に備えました。



朝4時宿を出た車は湯の台コース滝の小屋登山口へ。晴天の兆しの空の下、登山口・

滝の小屋・八丁坂へと雪解け水の流れの中を遡上し、一丁二丁と急登を踏みしめ上がるにつれ背後に庄内の山や平野が、酒田の市街が、日本海の青が広がり、我らを励ましてくれる。



すっかり廃屋の滝の小屋(トイレは立派)ここからの眺望は誰をも

楽しませる。万年の雪渓は心の字で緑の山肌に、その山肌は外輪山へと、もちろんその上は紺碧の夏空。

ここから外輪山・伏拝(ふしおがみ)岳までは最後の急登。お花畑を、雪渓の道を、最後は急登のアザミ坂を、もういい加減にせよと云うほど登った。下では枯れていた鳥海山アザミがここではまだ元気に咲いていた。痛! トゲが。

外輪山の道は、立錐コースからの道と合わさり山頂を目指す。

外輪山は文殊岳、伏拝岳・行者岳・七高山(新山できるまでの最高峰)そして最高峰新山と多くの

ピークで成っている。

もくもくと湧き上がる雲が大海の如く、雲海を突き抜け月山の峰が、千蛇谷の美しい眺めとそこを歩み来る登山者の列。パノラマロードは天の道か。

外輪山から新山へは一旦ザレた鎖場を火口の底へ急降下。今日は各地からの登山者で渋滞している。底で昼食・休憩。



鳥海山に来て気付いたのは、わがパーティの2名のようシニアが居ないこと。I C I石井スポーツの広告に載っているようなカッコいいハイカー・トレッカーのような生きのイイのばかり！

最高峰の新山は200年程前の噴火で出来た溶岩ドーム。底からゴロゴロした大岩を直登。這い上がり、回り込み狭い山頂に到着。往路は楽しくも結構きつかったのでも思わず＼(^_)/でした。

山頂からは一面の雲海とその上に広がる深く青い空。岩手県の山や下界の広大な景色は眺めれなかつたけどそれに負けない景観でした。



新山から大物忌神社へ参り一服。Sさん藍染の鳥海山手拭い買ってイイね！ Iさん一本500円のペット

旨そう、ビール飲んでいるみたい！

下山も結構道は悪路で長い。青空はまだまだ健在。日差しは厳しいので日焼け、渴きが体力を奪いそう。疲れが凸凹道、穴ぼこ道への対応に脚が悲鳴をあげている。俺も結構いい歳だからなー(弱気満々)



帰路の車運転もあるので、はやる気持ちを抑えマイペース下山。まさか日帰りピストンできるとは。行けるとこまで行って鳥海山を楽しめればいいと。女性二人の山への情熱と根性に脱帽、背中を押され登った鳥海山でした。

(記&写真・宮崎 敏男)

私の一言

・石附智江

天気バッチリで最高でした。スタートから河原宿小屋まではペースも良く楽でしたが、そこから頂上まで大変でした。しかし仲間にも助けられゴールしました。ありがとうございました。

・佐藤聡美

台風一過のような雨後の快晴の鳥海山に登れて良かったです。庄内平野と日本海が雲合間から見られて素晴らしい景色でした。山頂直下の険しい岩場には参りました。なんとか降りられほっとしました。



"眼を閉じて雪溪の涼風渡る"